

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル  
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉野 尊文  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,372	△14.3	△101	—	14	△74.9	13	—
25年3月期第3四半期	6,265	18.5	110	416.2	57	18.8	△17	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 62百万円 (△42.4%) 25年3月期第3四半期 108百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	1.91	—
25年3月期第3四半期	△2.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	11,229	7,350	63.5	980.08
25年3月期	11,295	7,406	63.5	985.31

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 7,128百万円 25年3月期 7,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,003	△7.1	408	△7.1	451	32.3	198	35.3	27.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,620,320 株	25年3月期	7,920,320 株
26年3月期3Q	346,433 株	25年3月期	642,433 株
26年3月期3Q	7,277,087 株	25年3月期3Q	7,278,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による各種の経済政策により、個人消費、企業収益が改善するとともに、消費増税後の影響を軽減する等景気回復に重点を置いた、積極的な取組みにより順調な回復が見られる一方、輸入物価の上昇や新興国経済の成長鈍化、欧米の景気回復基調の弱さ等の不安材料も残る状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは国内外の展示会に積極的に参加し、新型の輸入機・国産機の拡販に注力するとともに、平成25年10月に株式会社鈴木製作所の事業を譲受け、関東工場を開設し各種充填設備の製造、メンテナンスを事業の柱として迅速にお客様のニーズに対応出来る様、体制強化を図って参りました。売上高につきましては、大口案件が第4四半期以降にずれ込んだことにより前年同期比893百万円減少いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比1.4ポイント改善いたしました。売上総利益が減収に伴い91百万円減少したことに加え、人件費やサービス費等、販売費及び一般管理費が増加したことで営業損失となりました。しかし一部債権において回収不能の懸念があり、貸倒引当金を前連結会計年度末に加え278百万円引当てしておりますが、平成25年9月から12月にかけて保有上場株式を2銘柄売却し投資有価証券売却益を営業外収益に356百万円計上した結果、経常損益、四半期純損益につきましては利益計上となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,372百万円（前年同期比14.3%減）、売上総利益は1,078百万円（同7.8%減）、営業損失は101百万円（前年同期は110百万円の利益）、経常利益は14百万円（前年同期比74.9%減）、四半期純利益は13百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

#### ①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では4,909百万円（前年同期比15.6%減）でありました。このうち、検査装置が865百万円（同64.3%増）、製剤機が333百万円（同38.6%増）、改造・調整・修理が1,111百万円（同19.8%増）、部品が521百万円（同8.6%増）、包装機が1,075百万円（同2.1%増）と好調に推移いたしました。一方では一連ラインが290百万円（同61.4%減）、充填機が710百万円（同61.3%減）と大幅に減少しました。

#### ②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高402百万円（前年同期比11.9%増）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド17百万円（同22.4%増）、原石114百万円（同3.9%減）、パウダー49百万円（同28.6%増）等となっております。

#### ③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高60百万円（前年同期比30.8%減）であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比66百万円減少し、11,229百万円となりました。これは主として仕掛品が430百万円、前渡金が393百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,071百万円減少し、貸倒引当金が277百万円増えたことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比10百万円減少し、3,878百万円となりました。これは主として、前受金が452百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金が252百万円、未払法人税等が172百万円減少したことによるものです。純資産は、主として繰延ヘッジ損益が43百万円増加する一方で、配当金の支払い109百万円により、7,350百万円となり前連結会計年度末比55百万円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成25年5月17日公表「平成25年3月期 決算短信」）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,455	2,444,863
受取手形及び売掛金	3,489,721	2,418,639
有価証券	202,321	54,088
商品及び製品	66,471	84,217
仕掛品	1,132,163	1,562,545
原材料	57,133	63,293
前渡金	559,715	953,467
繰延税金資産	89,513	63,731
その他	230,712	437,128
貸倒引当金	△2,135	△1,914
流動資産合計	8,094,074	8,080,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	285,681	478,280
土地	476,274	632,932
その他（純額）	47,445	82,149
有形固定資産合計	809,401	1,193,362
無形固定資産		
のれん	22,821	15,974
その他	21,515	21,077
無形固定資産合計	44,336	37,052
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,399	1,265,779
長期預金	201,500	200,000
その他	1,101,279	1,084,397
貸倒引当金	△353,544	△631,545
投資その他の資産合計	2,347,634	1,918,632
固定資産合計	3,201,373	3,149,047
資産合計	11,295,448	11,229,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450,139	2,197,503
短期借入金	100,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	19,920	19,920
未払法人税等	176,837	4,165
前受金	466,325	919,127
賞与引当金	74,131	51,602
その他	256,534	173,665
流動負債合計	3,543,887	3,510,984
固定負債		
長期借入金	31,940	17,000
退職給付引当金	190,199	207,288
役員退職慰労引当金	64,782	68,430
その他	58,367	74,639
固定負債合計	345,290	367,359
負債合計	3,889,178	3,878,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	5,717,061	5,458,171
自己株式	△350,457	△188,490
株主資本合計	6,732,279	6,635,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,531	419,663
繰延ヘッジ損益	30,298	73,931
為替換算調整勘定	△2,151	35
その他の包括利益累計額合計	438,678	493,630
少数株主持分	235,311	221,779
純資産合計	7,406,269	7,350,765
負債純資産合計	11,295,448	11,229,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,265,320	5,372,005
売上原価	5,095,232	4,293,089
売上総利益	1,170,088	1,078,915
販売費及び一般管理費	1,059,757	1,180,467
営業利益又は営業損失(△)	110,330	△101,551
営業外収益		
受取利息	19,472	10,438
受取配当金	23,140	24,006
投資有価証券売却益	—	356,601
その他	11,669	10,709
営業外収益合計	54,282	401,755
営業外費用		
支払利息	1,227	1,091
投資有価証券評価損	4,689	5,390
貸倒引当金繰入額	100,000	278,000
その他	1,596	1,403
営業外費用合計	107,513	285,884
経常利益	57,100	14,318
特別利益		
固定資産売却益	37	28
特別利益合計	37	28
特別損失		
その他	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	57,132	14,347
法人税、住民税及び事業税	48,380	5,433
法人税等調整額	△3,138	2,063
法人税等合計	45,241	7,496
少数株主損益調整前四半期純利益	11,891	6,851
少数株主利益又は少数株主損失(△)	28,965	△7,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,074	13,932

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,891	6,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,558	10,031
繰延ヘッジ損益	11,855	43,632
為替換算調整勘定	11,495	2,187
その他の包括利益合計	96,909	55,851
四半期包括利益	108,800	62,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,844	68,884
少数株主に係る四半期包括利益	29,956	△6,182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	5,818,881	359,471	6,178,352	86,967	6,265,320	—	6,265,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	—	—	—	—	—	—	—
計	5,818,881	359,471	6,178,352	86,967	6,265,320	—	6,265,320
セグメント利益	386,788	43,903	430,692	23,819	454,511	△344,180	110,330

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△344,180千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	4,909,414	402,380	5,311,794	60,210	5,372,005	—	5,372,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	—	—	—	—	—	—	—
計	4,909,414	402,380	5,311,794	60,210	5,372,005	—	5,372,005
セグメント利益	232,166	39,806	271,972	11,466	283,439	△384,991	△101,551

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△384,991千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。